



第14号
2020年 秋号

きずな



まつえ障がい者サポートステーション絆（サポート絆）では、障がいのある方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていけるように、障がい者の立場に立った支援をしています。

サポートステーション絆 出前講座



「共に生きる」を考える

～ 松江市で起きた
障がい児虐待事件から学ぶ～

実施期間：令和2年10月～令和3年1月
対象：放課後等デイサービス
事業所職員

2018年11月 松江市内の障がい児の通う施設内で虐待事件が発生しました。あれから二年、私たちの障がいの児童に対する関わりは何か変わったでしょうか…島根大学 人間科学部 福祉社会コース 京研究室の学生らが1年をかけて集めた情報を整理し、虐待に関する情報提供をし、虐待を起こさないために出来ることを一緒に考えていきたいと思えます。

《 参加者の気づき・意見 》

虐待研修を毎年受けているが業務的になっていないか考えさせられた。児童に向き合う前に職場の環境（支援統一・連携・周知など）を今一度、考え直したい。



児童指導員歴4年。ご家族の手記を見て胸が痛みました。現場では日々、試行錯誤しておりますが、押し付け・自己満足の支援にならないよう、本人の特性の理解に努め、支援をしていきたいと思えます。



公開講座のご案内

「意思決定支援について」～本当の気持ちと出会うとき～

社会福祉法人 明星会理事長 宮下 智氏 講演会

☆12月1日(火) 13:30～16:30

☆参加無料

☆オンライン会議システム「ZOOM」にてご参加ください。

本当の気持ちを伝えられずに、困っている知的障がい・自閉症の方の『本当の気持ち』とは...

なぜ、暴れているの？
なぜ、眠れないの？

詳細は「サポートステーション絆」のホームページをご覧ください。



食欲の秋🍁 読書の秋📖 スポーツの秋🏸 …皆さんは、どんな秋をお過ごしでしょうか。秋風が心地よく、過ごしやすい季節となりましたね。私は、日々の運動不足解消！に向けて、バドミントンに（再）チャレンジ中です。学生時代を思い出しながら、〇十年前のラケットを出し、いざ家族と一緒に体育館へ。家族で体育館を借りることができる上、使用料も手頃なので、我が家は何回か利用しています。久しぶりのバドミントンに息切れをさせていただきますが・・・適度な汗、スマッシュが決まった時の爽快感、何と言っても「楽しい！」と感じられることに、喜びを感じております・・・。この社会情勢の中、過ごし方や行動に制限はありますが、少しでも心豊かに、楽しみを持って過ごしたいものです。

皆さんも素敵な秋を見つけてください♪ (東部島根医療福祉センター：中野)



《実習生》

8月から一か月にわたり、福祉を学ぶ島大生12名の方が実習に来られました。当日は、絆の相談体制・相談支援の仕組みを説明し、日々入る相談のケース・当事者の声にふれてもらいました。

Note Book

“実習生さんの感想”

私は実習を通し、『絆』は障がいに関する総合窓口であり、相談者に合ったサービスや相談事業所につなぐ場所だと学びました。主な業務は、生活に関する相談やサービス紹介ですが、一般就労や就労訓練等の相談も専門機関と連携して対応しており、受け皿が広いと感じました。障がいでもどこに相談したらいいかわからない時、何でも相談できる『絆』は、かなり助けになると思います！

N・Hさん

日本てんかん協会
島根県支部からの
お知らせです

てんかんのある人と そのご家族の生活を 支える請願活動

2020年度も国会請願署名活動が始まります。てんかん施策に反映できるよう、ご協力をお願いします。

- ※ 署名用紙は、日本てんかん協会の月刊情報誌『波』に綴じ込みしています。
- ※ お問い合わせ先は、TEL/FAX 23-5320 担当：三島

日本てんかん協会
島根県支部



(事務局 加藤)

例年とは違う、マスク着用だった夏。新しい生活様式、皆さん、慣れましたでしょうか・・・
日も短くなり、コロナ禍の秋の夜長は、一味違った楽しみ方を模索しております。

編集後記



松江市社会福祉協議会

まつえ障がい者サポートステーション絆

所在地 〒690-0852 松江市千鳥町70
(松江市総合福祉センター3F)
☎ 0852-60-0400
FAX 0852-21-4001
E-mail : s-kizuna@web-sanin.co.jp
HP : <http://www.shakyou-matsue.jp>
開所日 月～金曜日
開所時間 9:00～17:00
(土・日・祝日、年末年始を除く)